

- コース距離：10.2km
- 歩行時間：約2時間30分

- 1 JR水道橋駅
↓0.6km
- 2 小石川後楽園
↓0.7km
- 3 文京シビックセンター
↓0.6km
- 4 源覚寺
↓0.9km
- 5 小石川植物園
↓0.6km
- 6 白山神社
↓2.2km
- 7 六義園
↓1.6km
- 8 旧古河庭園
↓0.7km
- 9 平塚神社
↓0.7km
- 10 西ヶ原一里塚跡
↓0.1km
- 11 七社神社
↓1.1km
- 12 渋沢史料館
↓0.4km
- 13 JR王子駅

3 旧古河庭園

1917年(大正6年)に古河財閥3代目当主の古河虎之助によって、武蔵野台地の斜面を巧みに利用した西洋館と庭園が造られた。現在は国有財産で、東京都が借り受けて一般公開している。



9 平塚神社

平安後期元永年中の創建といわれ、八幡太郎源義家、次弟の源義綱、三弟の源義光の三兄弟が平塚三所大明神として祀られている。源義家の鎧を埋めて築いたとされる塚で、平塚の地名の元にもなった甲冑塚がある。



6 白山神社

創建は古く、948年(天曆2年)に加賀一宮白山神社を現在の本郷一丁目に勧請し、その後、1655年(明暦元年)に現在地に遷座した。毎年6月中旬に「文京あじさいまつり」が開催され、境内や隣接する白山公園では約3,000株の紫陽花が楽しめる。



5 小石川植物園

江戸で暮らす人々の業になる植物を育てる目的で、1684年(貞享元年)に江戸幕府によって開園された小石川御菜園が始まり。その後、明治期には東京帝国大学の附属施設となり、植物学の研究施設として生まれ変わって一般にも公開されるようになった。



3 文京シビックセンター

文京区役所の本庁舎などが入居する区民のための総合施設として、文京公会堂の跡地に1999年(平成11年)11月に竣工。25階にある展望室は、新宿高層ビル群や池袋など東京の街を見渡すことができる、無料のデートスポット。



2 小石川後楽園

江戸時代初期に水戸徳川家の江戸上屋敷内につくられた築山泉水回遊式の日本庭園。岡山市の後楽園と区別するため「小石川」を冠した。7万平方メートル以上の広大な園内には、梅、桜、つつじなどが植えられ、四季を通じて情緒豊かな景色が広がる。



快汗ウォーキングコース

四季折々の景色が広がる
小石川後楽園から小石川植物園を通り、
都内有数の日本庭園として名高い
六義園をめぐり旧古河庭園へと続く
庭園散策の1日コース

1 JR水道橋駅

1906年(明治39年)開業の相対式ホーム2面2線を有する高架駅で、JR中央本線と都営地下鉄三田線が乗り入れる接続駅。東京ドームシティの最寄り駅のため、プロ野球の試合や歌手のライブなどが開催される際は、とくに西口が混雑する。

4 源覚寺(こんにやく閻魔)

1624年(寛永元年)に創建された浄土宗の寺院で、「こんにやくゑんま」の別称で知られる。眼病が治った老婆が好物のこんにやくを断って、ずっと閻魔大王に供え続けたという言い伝えによる。現在でも眼病治癒のご利益を求め、こんにやくを供える人が多い。



Walking Course



13 JR王子駅

1883年(明治16年)開業の築堤上に島式ホーム1面2線を有する高架駅。ホームの赤羽寄り国道122号線(明治通り)およびその路面を通る都電荒川線を跨いでいる。今回の旅はここが終点。



11 七社神社

火災により古記録を焼失したため、創建年代等は不詳であるが、当初から7柱の神を祀る神社として創建。江戸時代には西ヶ原村の鎮守で、無量寺の境内(現在の旧古河庭園内)にあったが、明治初年に現在地へ遷座した。



7 六義園

徳川五代将軍・綱吉の側用人柳沢吉保が、自らの下屋敷として造営した大名庭園。名称は「六義(むくさ)」という和歌の六つの基調を表す語に由来する。1938年(昭和13年)には東京市に寄贈され、一般公開されるようになった。



12 渋沢史料館

飛鳥山公園内にある渋沢栄一の生涯と事績に関する博物館で、展示室のある本館、洋風茶室の「晩香廬」のほかに、1925年(大正14年)の竣工で、栄一の書庫として、また接客の場としても使用された「青淵文庫」が公開されている。



10 西ヶ原一里塚

日本橋から数えて2番目の一里塚。都内に現存するものは、志村(板橋区)の一里塚とこのみで、旧道を挟んで一対の塚が旧位置にあるのは、ここだけ。

